



平成 29 年 12 月 21 日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 矢 崎 雄 一 郎
(コード番号： 2191)
問 合 せ 先 取 締 役 CFO 小 塚 祥 吾
(電話：03-5937-2111)

テラファーマ株式会社とアルフレッサ株式会社における細胞製品の輸送コンサルティング基本契約及び治験製品等輸送管理業務委受託契約締結に関するお知らせ

当社連結子会社であるテラファーマ株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：宮澤準一、以下「テラファーマ」といいます。）は、本日開催の取締役会において、アルフレッサホールディングス株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：久保泰三）の完全子会社であるアルフレッサ株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：増永孝一、以下「アルフレッサ」といいます。）との間で、細胞製品の輸送に関するコンサルティング基本契約及び治験製品等輸送管理業務委受託契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 契約締結の目的

当社は、がん免疫療法の一つである樹状細胞ワクチン療法の研究開発を行い、国立大学病院を初めとする全国の医療機関にその技術・ノウハウを提供してまいりました。弊社の樹状細胞ワクチン療法を受けたがん患者は、延べ1万1,000名を上回り、その臨床データの解析も進んでおります。これらのデータをもとにテラファーマは、日本初である進行膵臓がんに対する樹状細胞ワクチンの治験にテラファーマ開発の樹状細胞ワクチンを提供し、この新しい治療法を一日も早く、より多くの膵臓がん患者へお届けできるよう、薬事承認申請に向けた取り組みをしております。

一方、医療用医薬品等の卸売事業を行うアルフレッサは、今回のテラファーマとの契約により、アルフレッサグループとして初めて再生・細胞医療に用いられる治験製品の輸送管理業務に携わります。

テラファーマは、同社開発の樹状細胞ワクチンの治験に用いる細胞製品の輸送に関する業務手順やそれらを確立するプロセス等、これまで培ってきたノウハウをアルフレッサに提供いたします。これにより細胞の輸送技術を要する治験製品の高品質な輸送体制の構築を支援いたします。また、両社は将来的には治験に用いる細胞製品のみならず、再生医療等製品として上市後の樹状細胞ワクチンを全国の医療機関に提供することを目指してまいります。

2. 契約の主な内容

(1) コンサルティング基本契約（契約開始日：平成 29 年 12 月 21 日）

- ・ 製造施設と医療施設間の細胞製品の輸送に関する SOP（標準業務手順）作成支援及び助言
- ・ 細胞製品の輸送時の温度管理評価及び安定性評価に関する助言

(2) 治験製品等輸送管理業務委受託契約（契約開始日：平成 29 年 12 月 21 日）

- ・ 製造施設と医療施設間の細胞製品の輸送業務

3. 当事会社の概要

(1) テラファーマ株式会社

①	名 称	テラファーマ株式会社
②	所 在 地	東京都新宿区西新宿六丁目 5 番 1 号 新宿アイランドタワー20階 モバフ新宿アイランド
③	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 宮澤 準一
④	事 業 内 容	医薬品、医療機器、再生医療等製品等の研究、開発・試験、製造、 売買及び輸出入に係る調査及び企画等
⑤	資 本 金	250 百万円
⑥	設 立 年 月 日	平成 26 年 1 月 24 日

(2) アルフレッサ株式会社

①	名 称	アルフレッサ株式会社
②	所 在 地	東京都千代田区内神田一丁目 12 番 1 号
③	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 増永 孝一
④	事 業 内 容	医療用医薬品、医療機器、医療用検査試薬等の卸売販売
⑤	資 本 金	4,000 百万円
⑥	設 立 年 月 日	昭和 24 年 8 月 10 日

4. 今後の見通し

本件が、当社の平成 29 年 12 月期連結業績に与える影響はございませんが、本コンサルティング基本契約の提供完了日が平成 30 年 12 月期中の予定のため、完了した時点で、当社の平成 30 年 12 月期連結業績への影響がございます。なお、当該影響につきましては、平成 29 年 12 月期決算短信〔日本基準〕（連結）の提出時に開示予定の平成 30 年 12 月期の連結業績予想に折り込んで開示する予定となっております。

なお、本件は、今後の両社の企業価値向上に資すると考えており、将来的に両社の業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、適時お知らせいたします。

以 上